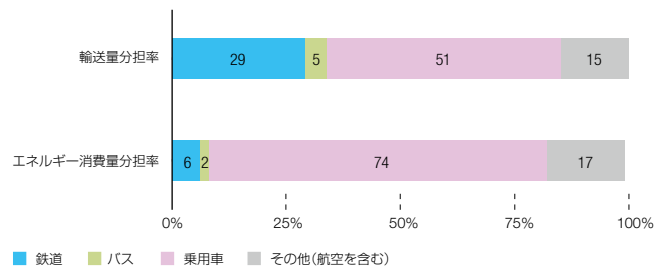


▶ その他  
環境

鉄道の環境優位性

国内旅客輸送機関の輸送量とエネルギー消費量の構成  
(2009年度：全国)



資料：国土交通省交通統計室「交通関連統計資料集」GIO「日本の温室効果ガス排出量データ」より算出

環境目標

さらなる省エネルギー・省資源に努め、持続的発展が可能な社会の実現に貢献する。

項目	2013年度実績	2017年度目標
エネルギー消費量(当社全体) (2010年度比)	△3%	△2%*2,3
向上(在来線運転用：駅オフィスなど) (2010年度比)	△5%	△9%*2
省エネルギー車両比率	78%	83%
エネルギー消費原単位*1 (2010年度比)	△3%	△3%*2,3
駅ごみ・列車ごみ(資源ごみ)リサイクル率	98%	96%以上*2
鉄道資材発生品リサイクル率	設備工事 車両	96% 91%以上

\*1 原単位は車両キロあたりの消費エネルギー(MJ/車両キロ)としています。  
\*2 「中期経営計画」に掲載  
\*3 2017年度目標値は北陸新幹線開業によるエネルギー消費量の増加(推計)を考慮

省エネルギー車両の導入

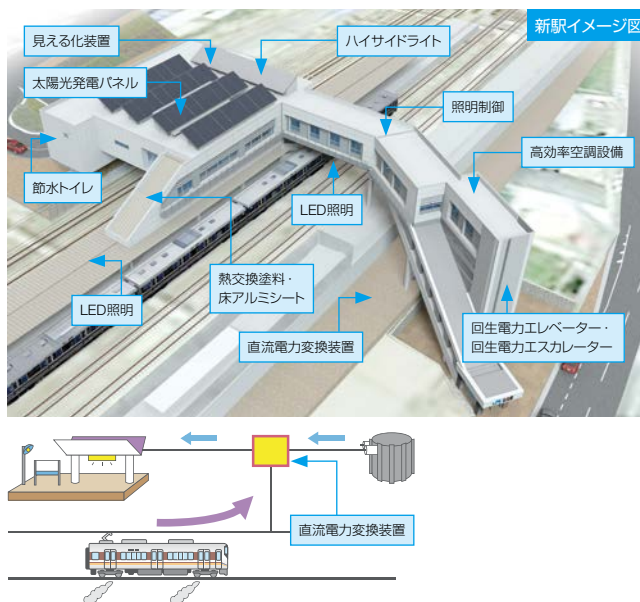
当社の消費エネルギーの多くを占める列車運行のエネルギーを削減するため、省エネルギー性に優れた車両の導入を進めており、2013年度末に省エネルギー車両の導入比率は78%となった。また、省エネルギー運転を実践している。



省エネルギー車両(225系車両)

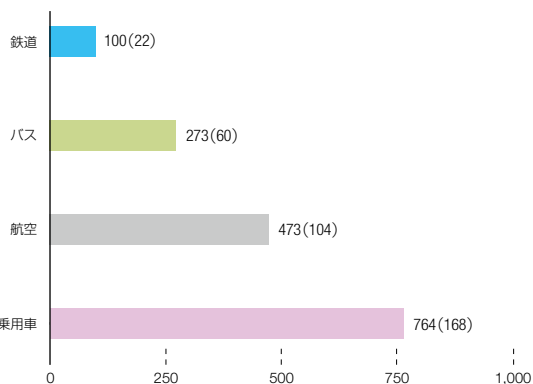
エコステーションの展開(まや新駅)

2016年春開業予定のまや新駅(仮称)では、再生電力を駅で活用できる直流電力変換装置を導入するなど、さらなる省エネルギーを目指す。



単位輸送量当たりのCO<sub>2</sub>排出量【旅客】  
(2012年度)

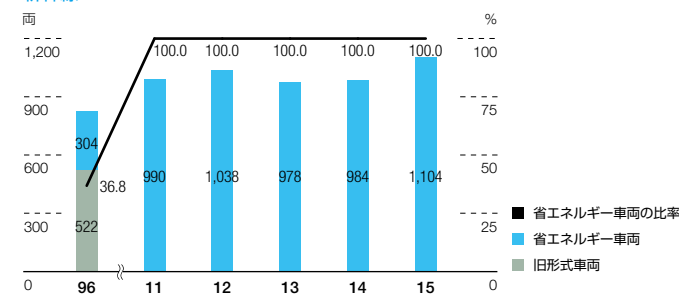
鉄道を100とした場合の指数



出典：国土交通省ホームページをもとに作成  
( )内の数値は実際のCO<sub>2</sub>排出量 [g-CO<sub>2</sub>/人キロ]

省エネルギー車両導入の推移(営業車)

新幹線



在来線

